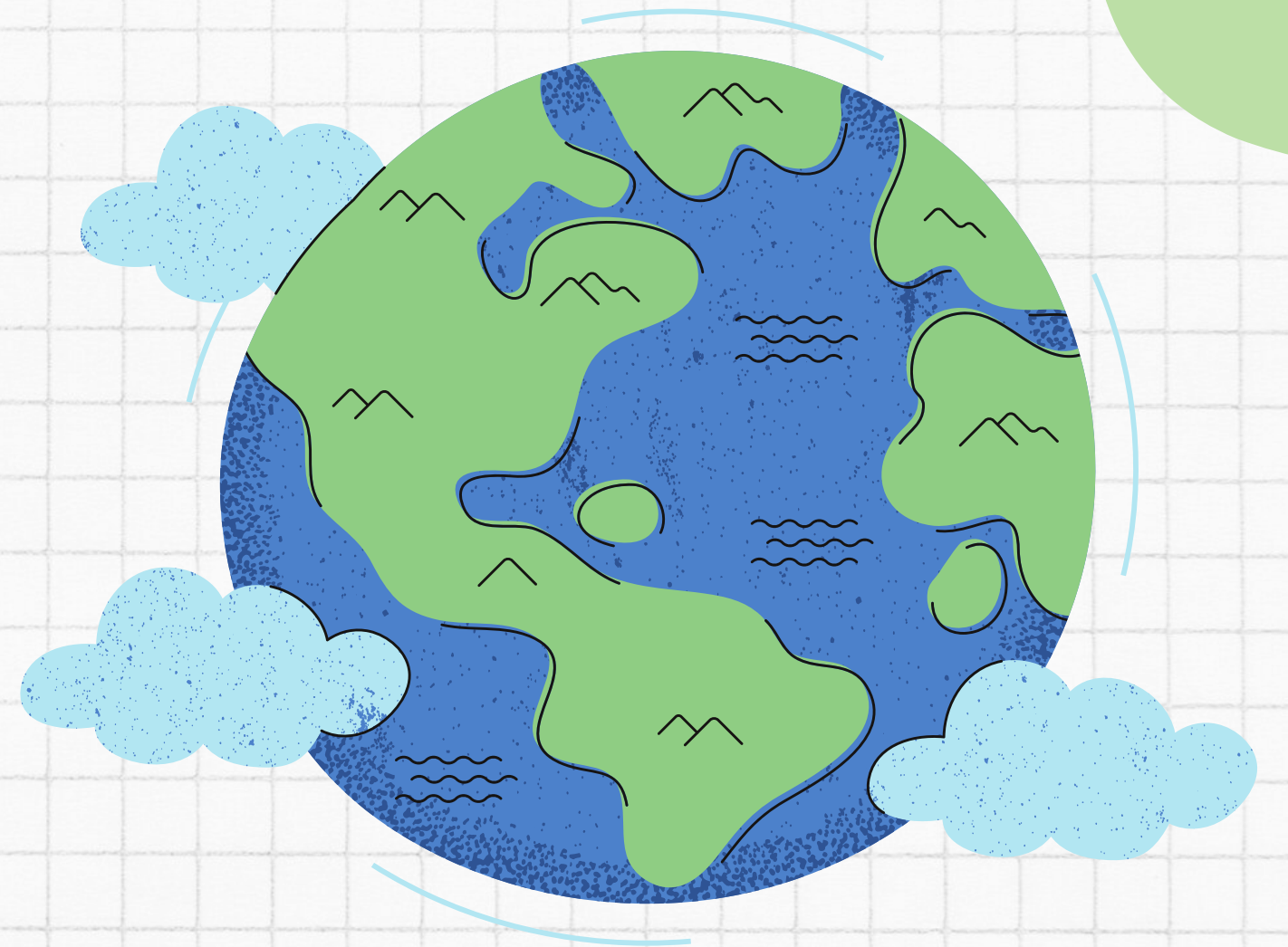


地球の危機を救う第一歩

b y 木育ガール キキちゃん



じこしょうかい



本名：まえだ あやせ

通称：木育ガール キキちゃん

呼び名：キキちゃん

東京学芸大学 大学院2年生

一般社団法人東京学芸大Explayground推進機構 木育研究所
代表

NPO法人東京学芸大こども未来研究所 プロジェクト研究員

好きなこと：ものづくり 好きな樹種：ヒノキ



クイズ！

**日本の森林の量は昔とくらべて
どのように変化しているでしょうか？**

①減っている②増えている③変わらない

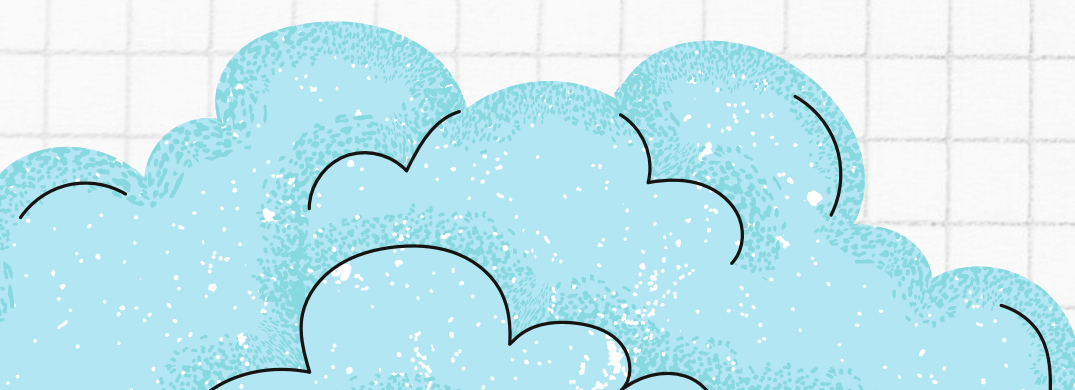


ヒント 1

昔の生活のエネルギー源

と

今の生活のエネルギー源



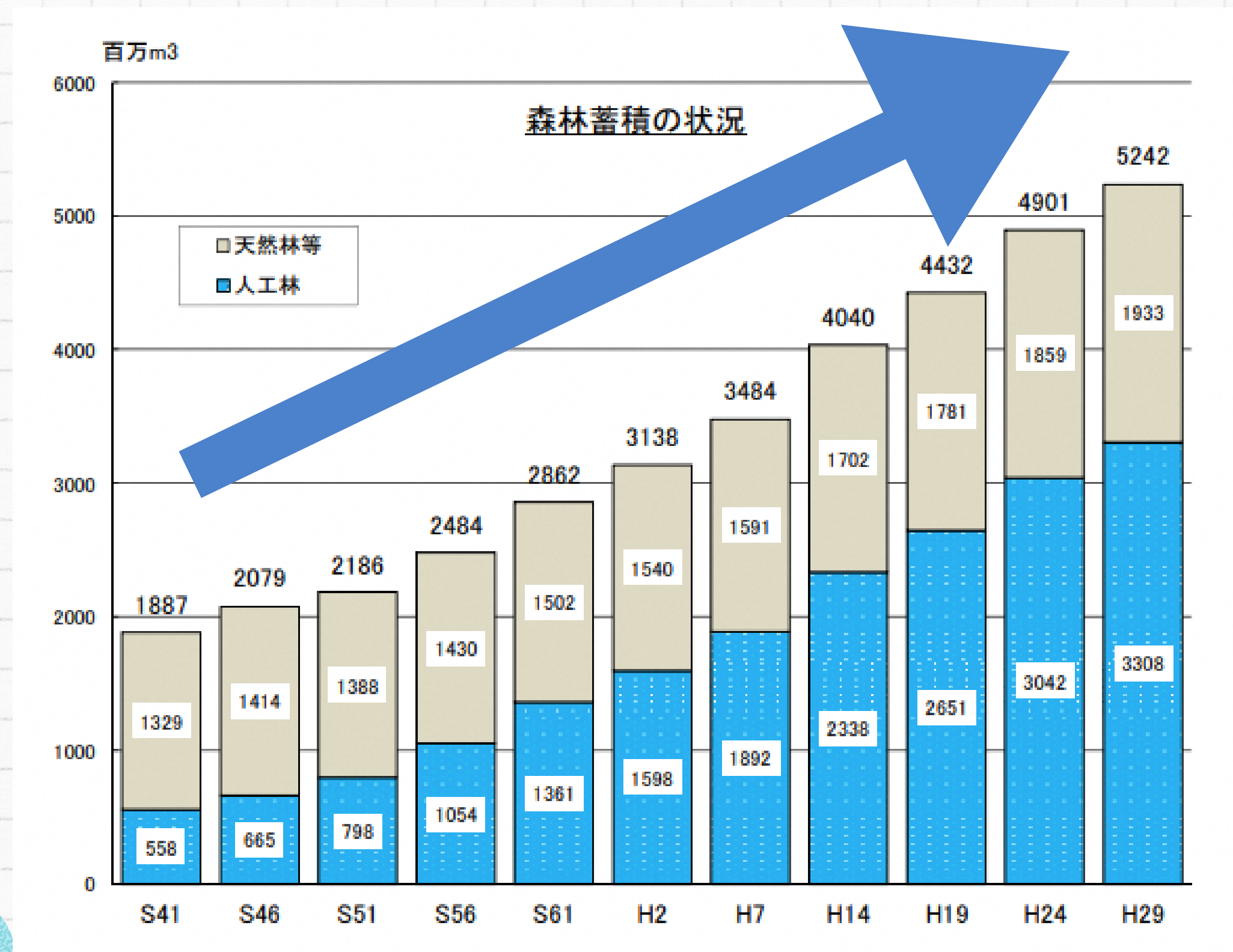


ヒント2

昔の生活の素材
と
今の生活の素材



答え：②増えている



森林が増えている理由

エネルギー源が
炭から
電気やガスに
変わったから

素材が
木材から
金属やプラスチック
に変わったから

外国の安い木材
が入ってきて、
日本の木材が
あまり使われな
くなったから

今の便利な生活を続けていく とどうなるだろう？

使い捨てのプラスチック容器などを使ったりしてすぐゴミとして捨てる

近い距離でも自動車
で移動する

たくさんの家電を
使う



使い捨てのプラスチック容器などを使ったりしてすぐゴミとして捨てる



ゴミを処理するために燃やす

近い距離でも自動車
で移動する



燃料をエンジンで
燃やす

たくさんの家電を
使う



電気をつくるために
発電所で石炭や天然
ガスを燃やす

使い捨てのプラスチック容器などを使ったりしてすぐゴミとして捨てる



ゴミを処理するために燃やす

近い距離でも自動車
で移動する



燃料をエンジンで燃
やす

たくさんの家電を
使う



電気をつくるために
発電所で石炭や天然
ガスを燃やす

二酸化炭素発生！

これがたくさん排出されてしまうと…

ちきゅうおんだんか

地球温暖化





小金井市気候非常事態宣言

～2050年 二酸化炭素排出実質ゼロを目指して～

近年、世界各地で熱波や干ばつ、大規模な森林火災など、地球温暖化による異常気象が頻発しています。日本各地でも、猛暑や熱帯夜の増加、記録的な集中豪雨や強大化した台風による崖崩れや洪水など、甚大な被害が発生しており、このまま温暖化が進行すると、私たちの市民生活に多大な影響が出ることが予想されています。気候変動による気象災害は極めて深刻で身近に迫った脅威であり、私たちの生存基盤を揺るがす、まさに「気候危機」です。

この危機的状況を脱するために、2015年に国連で採択された「パリ協定」では、産業革命前からの世界の平均気温上昇を2℃より十分低く保つとともに、1.5℃以下に抑える努力を追求する目標が定められました。また、2021年8月には、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の評価報告書で「人間の影響が大気、海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がない」と発表され、この危機的状況は、私たちの日々の行動が引き起こしているものであることが明確になりました。

今こそ、私たちは気候危機を自らの問題として認識し、経済社会活動やライフスタイルの変革に取り組むなど、気候危機への対策を加速させなければなりません。この非常事態を切り抜けるためには、「一人ひとりから始める意識改革」と「今すぐ行動する」ことが何より重要です。

そして、そのような行動に自ら積極的に取り組もうとする気持ちや姿勢を、大人だけでなく幼い頃から醸成するために「環境教育」の充実にも注力していきます。

小金井市のみどり豊かな自然環境を将来世代に継承するため、市、市民、教育委員会、事業者等が協働し、温室効果ガスの削減を図る「緩和策」と気候変動による災害から市民を守る「適応策」に本気で取り組み、SDGsの目指す持続可能な社会の実現に向けて、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指し、ここに気候非常事態であることを宣言します。

令和4（2022）年1月1日

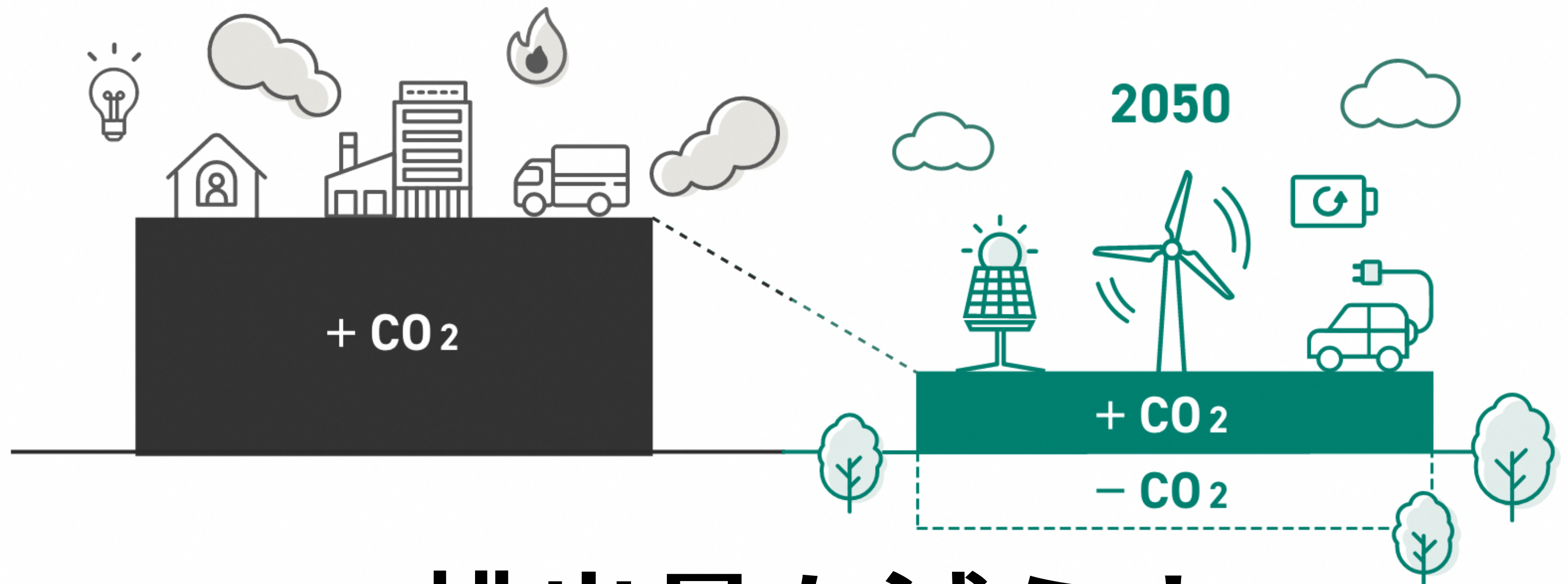
小金井市長

西岡真一郎

小金井市教育委員会
教育長

大熊雅士





**排出量を減らす
&
吸収量を増やす**

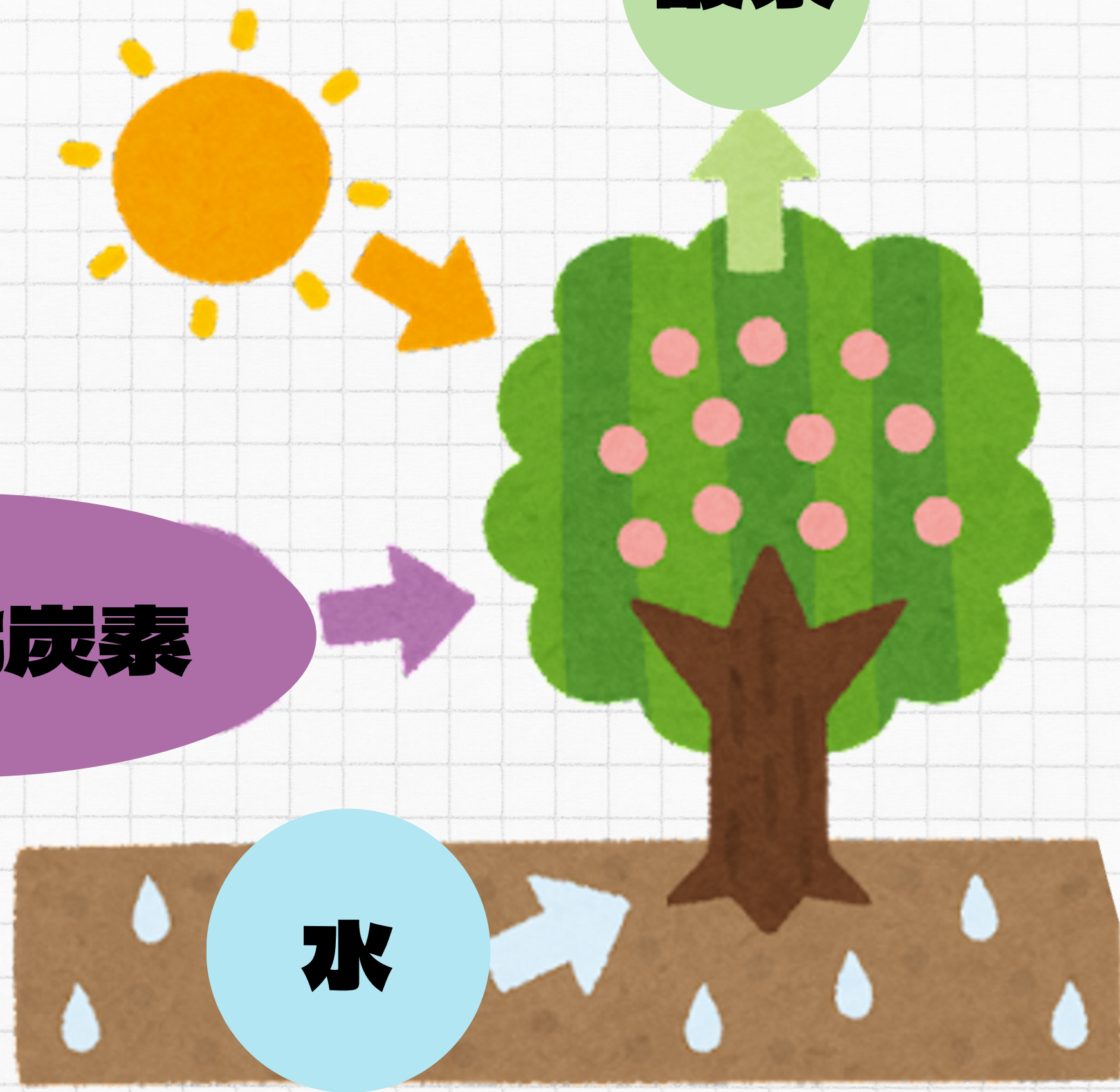
カーボンニュートラル

2020年10月、政府は**2050年**までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、
カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。

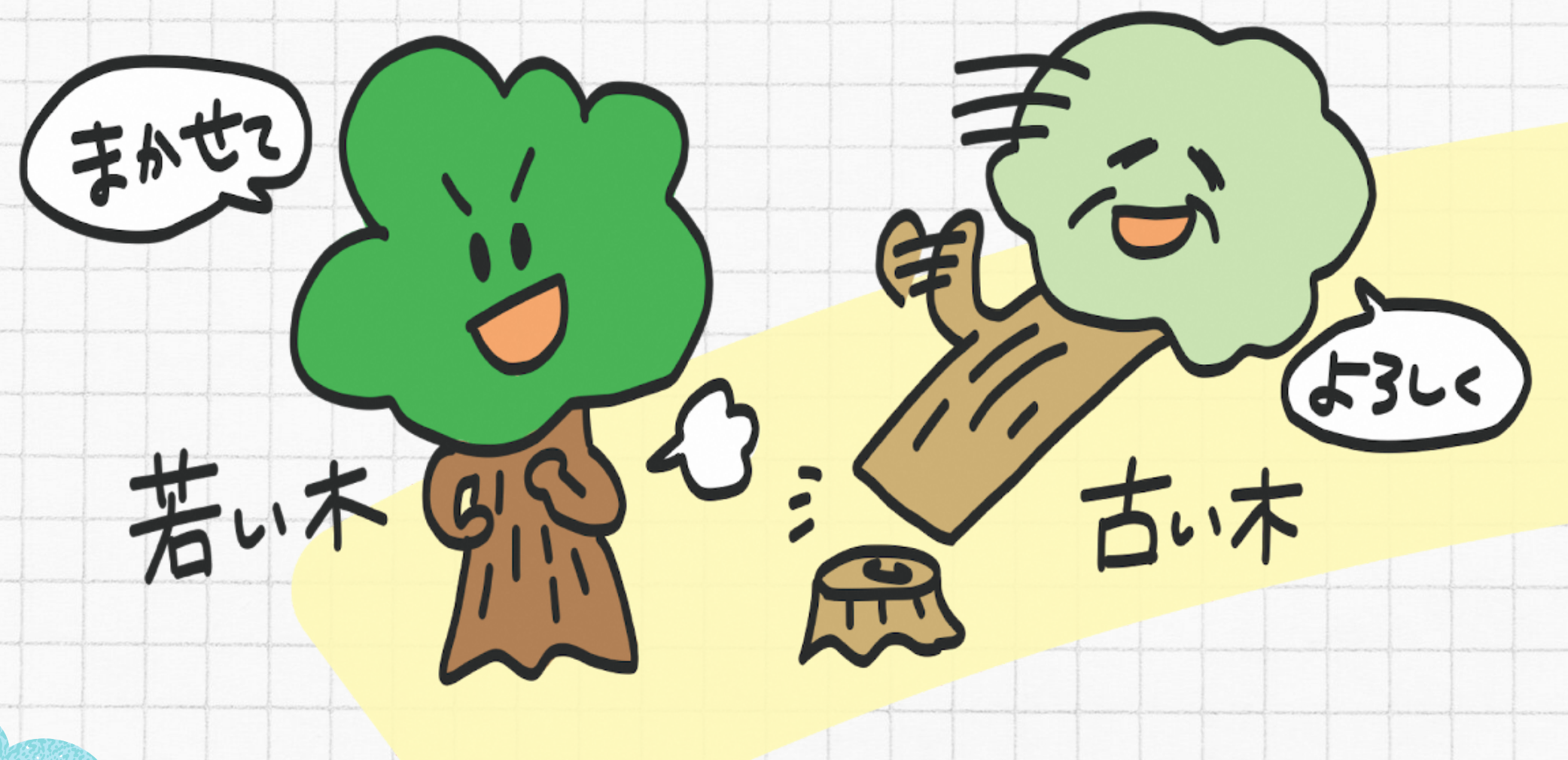
二酸化炭素を吸収してくれるもの・・・？

ヒント：日本で増えているもの

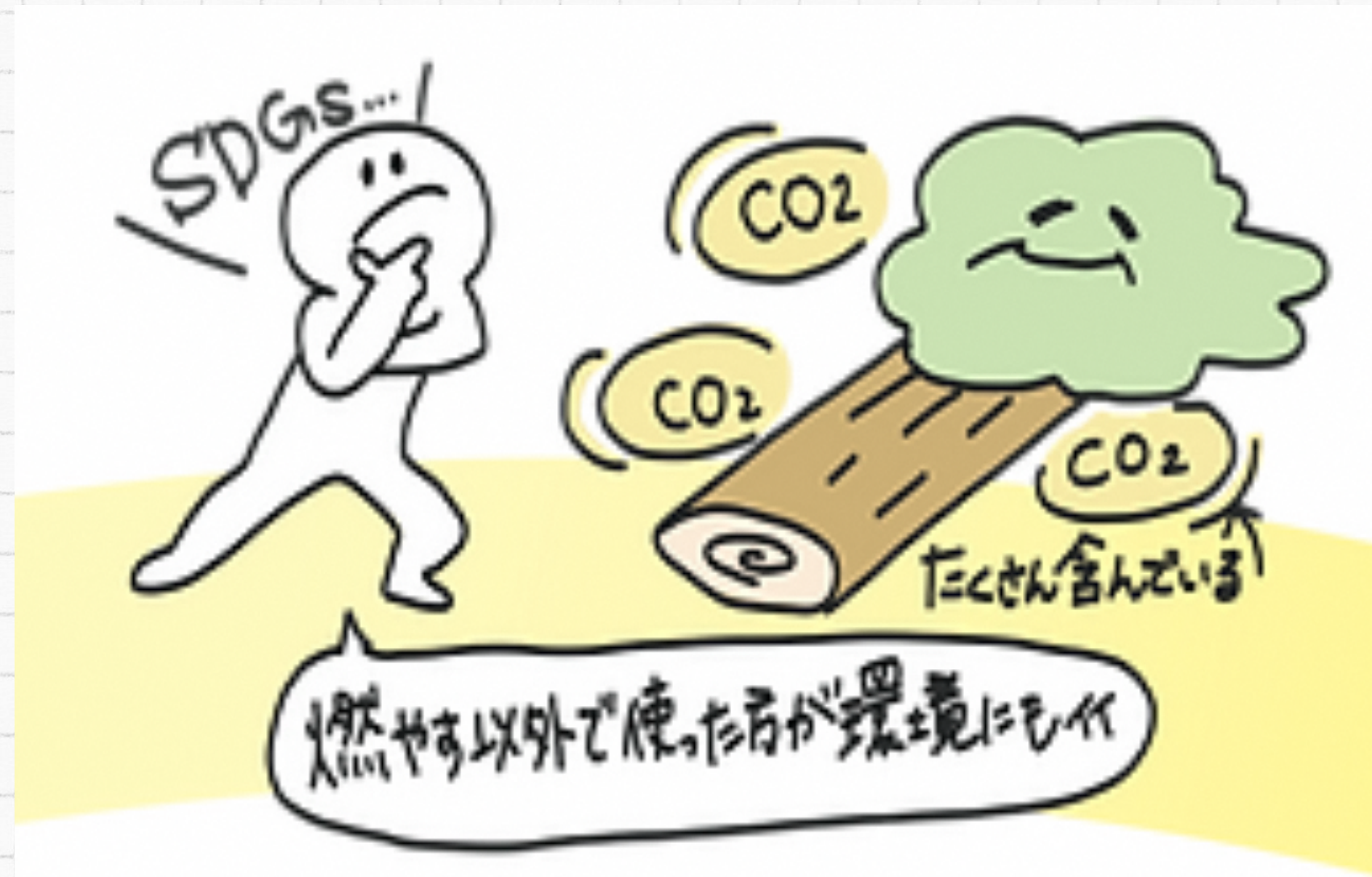
植物は二酸化炭素を
吸収して育ちます



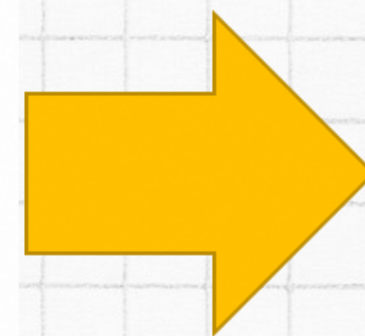
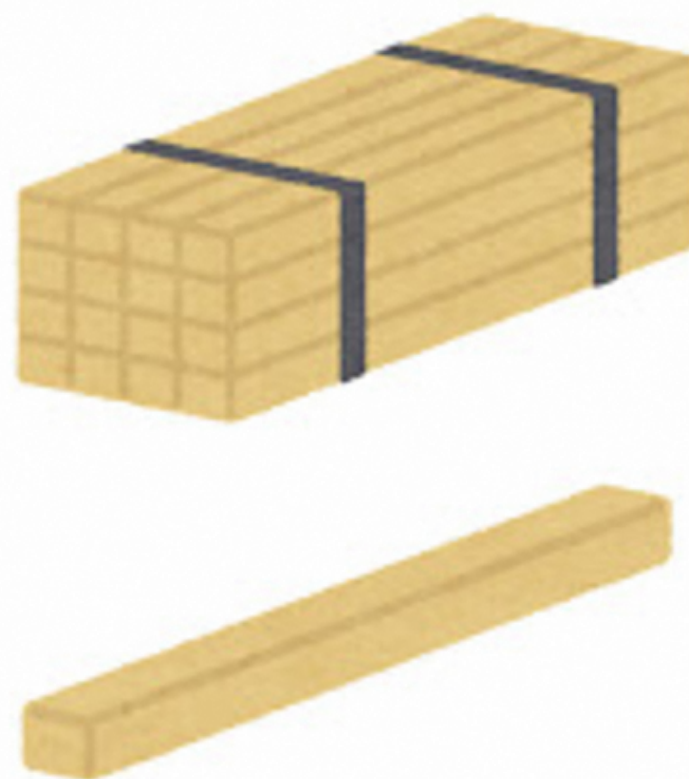
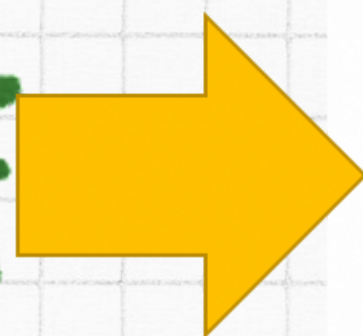
若い木のほうが二酸化炭素を吸収するので
吸収量を増やすには世代交代が必要。



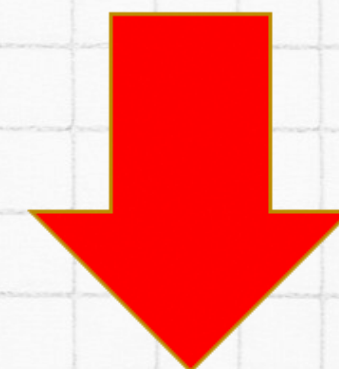
きった木を燃やすと…？
そのまま森に放置しておく…？



二酸化炭素



燃やす



二酸化炭素

**次の木材ができるまで50年。
木材を長期間使うことが大切！**

地球の危機を救え！

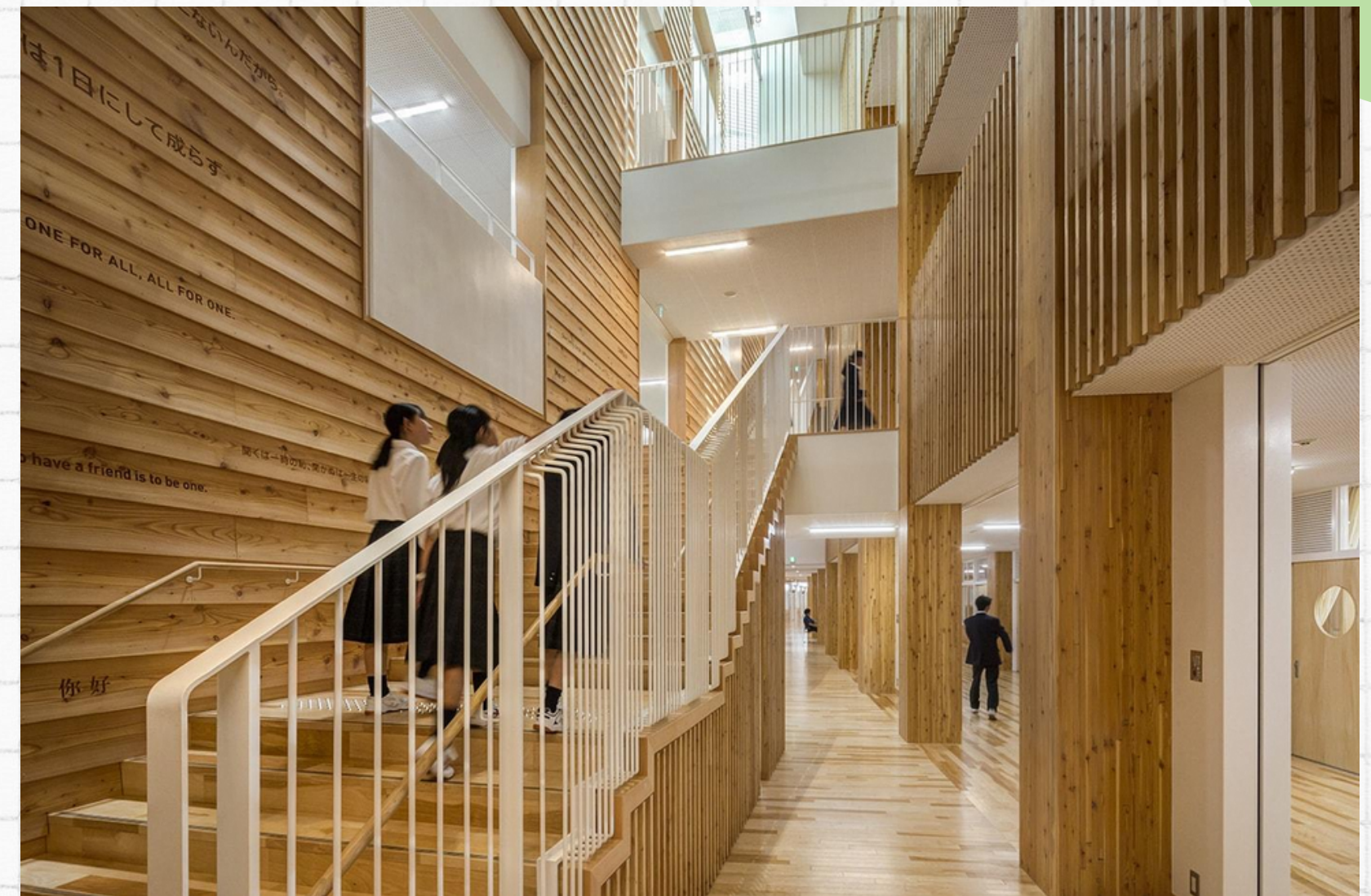
木材を長く1期間

たくさん使う

アイデアを提案せよ！



国立競技場



江東区立有明西学園



木のストロー



JR九州「或る列車」



再利用可能な家具「CARBON STOCK FURNITURE」

**木材を利用するアイデアを
とにかくたくさん出す！**

**多くの人に木製品を
使ってもらうアイデアでも
大丈夫**



ルール

制限時間：5分

調べるのはOK

とにかくたくさん出す

自由に想像してアイデアを出してみる

グループワーク

制限時間：8分

- ①個人で出したアイデアを見せ合う
- ②他の人のアイデアで良いと思ったものや、
組み合わせて良いアイデアができそうだと思ったもの、
新たに思いついたアイデアについて話す
- ③グループで発表するアイデアを一つ決めてふせんに
書いて提出する

地球の危機を救う第一歩

- ・地球温暖化問題に対してカーボンニュートラルという考え方があり、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを目指している
 - ・日本にたくさんある森林は二酸化炭素を吸収してくれる存在
 - ・二酸化炭素の吸収量を増やすために木製品を長く使うことが大切
- ⇒実際にどうすれば良いのかアイデアを考える



小金井市気候非常事態宣言

～2050年 二酸化炭素排出実質ゼロを目指して～

近年、世界各地で熱波や干ばつ、大規模な森林火災など、地球温暖化による異常気象が頻発しています。日本各地でも、猛暑や熱帯夜の増加、記録的な集中豪雨や強大化した台風による崖崩れや洪水など、甚大な被害が発生しており、このまま温暖化が進行すると、私たちの市民生活に多大な影響が出ることが予想されています。気候変動による気象災害は極めて深刻で身近に迫った脅威であり、私たちの生存基盤を揺るがす、まさに「気候危機」です。

この危機的状況を脱するために、2015年に国連で採択された「パリ協定」では、産業革命前からの世界の平均気温上昇を2℃より十分低く保つとともに、1.5℃以下に抑える努力を追求する目標が定められました。また、2021年8月には、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の評価報告書で「人間の影響が大気、海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がない」と発表され、この危機的状況は、私たちの日々の行動が引き起こしているものであることが明確になりました。

今こそ、私たちは気候危機を自らの問題として認識し、経済社会活動やライフスタイルの変革に取り組むなど、気候危機への対策を加速させなければなりません。この非常事態を切り抜けるためには、「一人ひとりから始める意識改革」と「今すぐ行動する」ことが何より重要です。

そして、そのような行動に自ら積極的に取り組もうとする気持ちや姿勢を、大人だけでなく幼い頃から醸成するために「環境教育」の充実にも注力していきます。

小金井市のみどり豊かな自然環境を将来世代に継承するため、市、市民、教育委員会、事業者等が協働し、温室効果ガスの削減を図る「緩和策」と気候変動による災害から市民を守る「適応策」に本気で取り組み、SDGsの目指す持続可能な社会の実現に向けて、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指し、ここに気候非常事態であることを宣言します。

令和4（2022）年1月1日

小金井市長

西岡真一郎

小金井市教育委員会
教育長

大熊雅士



非常事態を切り抜けるためには、
「一人ひとりから始める意識改革」と
「今すぐ行動する」ことが
何より重要です。



炭をエネルギーとして
ではなく、
インテリアや作品として
使えば良いのでは！

次回、実際にやってみよう！